

第2回 中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議 議 事 次 第

1 日 時

平成21年2月17日（火） 14：30～16：30

2 場 所

ウィル愛知3階 会議室5 愛知県名古屋市東区上堅杉町1番地

3 議 事

1. 開 会

2. 開会挨拶 中田 中部運輸局長

3. 議 事

(1) ガイドライン等に関連する施策等の取り組み状況についての報告

愛知労働局

経済産業局

中部運輸局

(2) 事例紹介（発表）

①平成20年度トラック事業の安全対策リーディングモデル創出事業

・路線トラック連盟東海連盟

・有限会社 中田商事

・大興運輸 株式会社

②荷主等とのパートナーシップによる構造改善実証実験事業

・近物レックス 株式会社

(3) パートナーシップ宣言（案）について

(4) その他

4 閉 会

第2回 中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議
議 事 次 第 (案)

平成21年2月17日
自動車交通部貨物課

時 間	議 事	内 容
14:30~14:35	開会	貨物課課長補佐
14:35~14:45	開会の挨拶	中部運輸局長
14:45~14:55	第2回の会議の趣旨説明 中部運輸局のこれまでの取組み	自動車交通部長
14:55~15:15	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">1</div> 議事 施策等の取り組み状況 1. 愛知労働局 2. 中部経済産業局	自動車交通部長
15:15~15:45	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2</div> 議事 事例紹介 1. 路線トラック連盟東海連盟 2. 中田商事 3. 大興運輸 4. 近物レックス	自動車交通部長
15:45~16:20	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">3</div> 議事 宣言について その他	自動車交通部長
16:20~16:30	閉会の挨拶	運輸局長

第2回 中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議

－資料－

資料 1 これまでの取組み状況

1. 中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議

- ・ 第1回中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議 議事録
- ・ トラック事業者懇談会の概要
- ・ 荷主懇談会の概要

2. 第2回トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議関係資料

資料 2 最近のトラック行政の概要 (貨物課長資料)

- ・ トラックの現状と課題
- ・ リーディングモデル創出事業の概要
- ・ 荷主等とのパートナーシップによる構造改善実証実験事業の概要

資料 3 事例報告資料

1. リーディングモデル創出事業の概要
2. 荷主等とのパートナーシップによる構造改善実証実験事業の概要

資料 4 燃料サーチャージ関係資料

第2回中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議 事例紹介名簿

平成21年2月17日・ウィル愛知

		組 織 名	役 職	出席者名
1	安全対策・リーディングモデル	日本路線トラック連盟東海地区連盟	会長	山口 嘉彦
2		大興運輸株式会社	取締役社長	鈴木 辰男
3			営業管理部部長	市橋 正憲
4			大阪支店 職長	松岡 英芳
5		有限会社中田商事	物流事業部取締役部長	坂口 和彦
6			四日市営業所所長	亀井 幸雄
7	荷主等とのパートナーシップ	近物レックス株式会社	代表取締役社長	小中 章義
8			中部地区部・取締役地区部長	鈴木 一好
9		都運輸株式会社	小牧支店 支店長	太原 秀樹

中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議 委員名簿

	機関代表者	組 織 名	役 職	委員名
1	学識経験者	中部大学	教授	大島 俊一
2	マスコミ関係	(株)中日新聞社	社会部部长	臼田 信行
3	経済団体・荷主	(社)中部経済連合会	常務理事	大野 睦彦
4		名古屋商工会議所	企画振興部長	成田 多喜夫
5		トヨタ自動車(株)	資材・設備調達部 資材・物流室 物流グループ グループマネージャ	重松 正彦
6		愛知県経済農業協同組合連合会	経営企画部部长	権田 博康
7		(社)中部産業連盟	副会長総合事業本部長	竹内 弘之
8	消費者団体	愛知県女性団体連盟	会長	加藤 愛子
9	労働組合	全日本運輸産業労働組合愛知県連合会	執行委員長	森田 和秀
10	事業者団体	中部トラック協会	専務理事	伊藤 隆之
11		日本路線トラック連盟東海地区連盟	会長	山口 嘉彦
12	トラック運送事業者	名鉄運輸(株)	業務部部长	小野 英男
13		西濃運輸(株)	取締役	大塚 委利
14		郵船航空ロジテック(株)	中部輸配送課長	杉山 真
15		名海運輸作業(株)	取締役輸送部長	山本 敦
16		トヨタ輸送(株)	取締役	手塚 俊雄
17		岡村運送(株)	代表取締役社長	岡村 正治
18	行政機関	中部経済産業局	産業部長	阿部 聡
19		愛知労働局	労働基準部長	天野 敬
20		中部運輸局	自動車交通部長	藤原 威一郎
21		中部運輸局愛知運輸支局	支局長	羽根淵 義信

課題及び今後の取組方針（案）について

平成 21 年 2 月 17 日

中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議事務局

（共通認識）

1. 物流を支える基盤としてのトラック事業の重要性及びトラック事業の意義・役割に対する社会的認知度向上の必要性
2. コンプライアンスの確保や安全・環境等に対する社会的要請の高まり
3. 脆弱な業界構造や多層化の進行などトラック運送事業の持つ特殊性
4. 荷主企業とトラック事業者の長期的な信頼関係の必要性
 - ・品質や価格に加え、2. の社会的要請の対応を巡り、相互に責任を有する主体の間において提案・協議できる長期的な信頼関係の形成

（事業者の課題等）

1. コンプライアンスの確保や安全性の向上の徹底
2. 事業基盤の安定化や運送効率の向上等に関する同業者間の連携・協調の推進
3. 輸送に関する品質やコスト等に関する荷主企業等への説明・提案力の強化

（荷主企業の課題等）

1. 自社内の他部門を含めた物流の課題・問題意識の把握
2. 着荷主やドライバーなども含めた現場の物流条件の考慮
3. 多頻度小ロット運行等物流に過度な負荷を与える慣行の見直し

（行政の課題等及びパートナーシップ会議としての今後の具体的な取組方針）

1. 輸送の安全性の確保やトラック事業の適正な競争環境の整備
 - 業界と連携してコンプライアンスや安全確保への監視を強化
2. 優良事業者や健全な事業環境の育成
 - 運輸安全マネジメント等を通じた優良事業者の育成、協同組合化など中小事業を健全に育成する対策の推進
3. 荷主企業と運送事業者がパートナーシップを確立する上で必要な環境整備
 - 荷主企業や物流子会社等に対する協力要請等を通じた安全運行や適正取引などのガイドラインの周知徹底・普及啓発
 - 安全面や取引面でパートナーシップを確立していく上で参考となる事例（ベストプラクティス）の発掘、収集及び提供

宣言（素案）

中部の健やかな社会と物流の文化の発展を願う 宣言

ここに集うわたくしたちは、私たちの住む中部の地域が、「朗らかな人の暮らすところ」でありつづけることを願っています。

経済環境が激しく変化している今、社会が健やかに発展するため、真剣に考え、中部トラック輸送パートナーシップ会議の理念として宣言します。

1. 事業のすべてが、心ある人たちの、多くの働きがつながり、なりたっていることに思いを馳せ、いつも互いに尊重しあいます。
2. あらゆる事業や輸送、または人を結び、仲立ちをしているトラック運送を中心に据え、物流のよりよい文化をつくっていきます。
3. 真摯、まじめな事業活動の実践事例を紹介し、研究と交流をします

平成 年 月 日

中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議
呼びかけ人

中部適正取引パートナーシップ会議の宣言について

平成21年2月

1, 全体的にまとめかたについて

やさしく、わかりやすく、明瞭で、あたたかな文章でまとめたいと思います。

2, 前文について

自らの暮らす地域に愛着を持ち、明さと優しさと芯の強さを未来を描きたい、そのイメージを「朗らかな人の暮らすところ」という言葉に込めました。

経済状況の急転するさなか、それぞれの倫理観、責任感について、共通の認識を持ちたい。

3, 主文の1について

下請多重構造、会社組織、他の事業・業種との結びつき、発注者と受注者、会社と自分の関係など、一つの事業には様々な「関係」により成り立っていますが、互いをよく知り、尊重しあうことを基本姿勢とすることを確認します。

4, 主文の2について

この会議で私達が何故トラックによる輸送を中心的に取り上げるのか、また、会議の目的は何かを確認します。

製造・加工・納品その他のあらゆる事業活動、鉄道・航空・海運・バイク・自転車・徒歩などの輸送、消費者としての人、生活者としての人など、トラックが結びつける対象は様々です。どの品物も、必ずどこかの課程でトラックが運んでいます。

品物は、全てトラック運送事業者にとって、「誰かが懸命に作ったもの」を「発注者の代わりに」運びます。時には発注主に「成り代わって」お届けすることもあります。そのため、物を運ぶことについて真摯な姿勢だけでなく、発注主と同様の業務や姿勢を、依頼人、受取人双方から求められることもあります。

こうした役割を確認し、理解を深め、安全な輸送、良好な取引環境のための、良い雰囲気を作るため、交流の場を設けることを、会議の目的とします。

5, 主文の3について

今後、会議で何をするかについて確認します。